

平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 深町 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成29年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
本市	16.67	20.32	33.09	40.91	52.67	9.38	152.51	24.17	54.37

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72
本市	16.47	19.16	37.19	39.55	42.13	9.62	145.98	14.41	55.96

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の学習では、児童一人あたりの運動時間の確保と「北九州市体力向上プログラム」の「準備運動編」に示されたジャンプアップ運動やボディバランス運動に親しみをもって行うことができるように取り組んだ。どの児童も運動やスポーツが好きで、体育の授業は楽しいと感じている。 ・学校の体育の授業時間以外で、運動やスポーツを行っている児童が少ない。体を動かすことに興味・関心を持たせ、運動に親しみをもち、継続して進んで行うようにする必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修等を行い、新体力テストを適切に全学年・全種目実施し、実態把握した。 ・運動会での種目を、各学年の児童の実態に応じた内容と運動量を考えて計画し実施した。新体力テストに良い結果として表れていた。 ・必ず「北九州市体力向上プログラム」の「準備運動編」を生かした体育科学習の取り組みを行った。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<p>1学期は、「握力大会」や「ボール投げ大会」(体育委員会)を計画し、昼休みを中心に大会に向けた練習を促した。2学期は縦割りでの「なわとび集会」(体育委員会)を計画し、朝の「なかよし広場」(縦割りグループでの活動)の時間を中心に長縄や短縄の練習に取り組んだ。3学期は、「持久走会」(学校行事)を計画し、中休みに「健康マラソン」の時間を設け、全校で取り組んだ。</p>
--